

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、新たな検査項目の受託開始について、下記の通りご案内いたします。
健康と医療の未来に貢献すべく、より良い検査サービスのご提供に努めてまいります。
謹白

記

■ 実施日 2022年1月4日(火) ご依頼分より

■ 新規項目内容一覧

項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査 方法	基準値 (単位)	備考
X798 1	17 α -ヒドロキシ プロゲステロン (生後4ヵ月以下) 4F050-0000-023-021	血清 0.6	S09 ↓ A00 (X)	冷蔵 (21日)	3~9	213 ※5	ELISA	2.3以下(参考値) (ng/mL)	裏面参照
OG98 6	17 α -ヒドロキシ プロゲステロン (生後5ヵ月以上) 4F050-0000-023-021								

※5：生化学的検査(Ⅱ)判断料

今回の新規項目受託開始に伴い、下記項目の受託を中止させていただきます。

項目コード	項目名	受託中止日
6239 1	17-OHプロゲステロン	2022年3月31日(木) ご依頼分をもって 受託中止



● 17 α -ヒドロキシprogステロン

21-水酸化酵素欠損症（21-OHD）の診断又は治療効果判定に有用な検査です。

先天性副腎過形成症（CAH）は、副腎皮質における糖質コルチコイドの産生に必要な酵素が先天的に欠損しているために起こる常染色体劣性遺伝疾患の総称です。糖質コルチコイドの合成障害からACTHが過剰に分泌されることにより、副腎の過形成が生じます。

CAHの中で最も頻度の高い疾患が21-水酸化酵素欠損症（21-OHD）であり、本酵素の欠損により、血中17 α -ヒドロキシprogステロン（17 α -OHP）の増加が認められる事から、血清17 α -OHPの測定は21-OHDの早期診断や治療のモニタリングの指標として有用です。

▼疾患との関連

先天性副腎過形成症
（21-水酸化酵素欠損症）

▼関連する主な検査項目

コルチゾール、副腎皮質刺激ホルモン（ACTH）、
レニン活性（PRA）、アルドステロン、
デヒドロエピアンドロステロンサルフェート
（DHEA-S）

▼検査要項

検査項目名	17 α -ヒドロキシprogステロン （生後4ヵ月以下）	17 α -ヒドロキシprogステロン （生後5ヵ月以上）
項目コード	X798 1	OG98 6
検体量	血清 0.6 mL	
容器	S09→A00 (X) ポリスピッツ	
保存方法	冷蔵保存してください	
所要日数	3~9 日	
検査方法	ELISA	
基準値	2.3以下（参考値）（ng/mL）	
報告範囲（単位）	0.2未満、0.2~99900000（ng/mL）	
桁数	有効3桁、整数8桁、小数1桁	
検査実施料	213点 （「D008」内分泌学的検査「40」） *1	
判断料	144点（生化学的検査（Ⅱ）判断料）	
備考	<ul style="list-style-type: none"> • ご依頼の際には必ず年齢（0歳児は月齢）を明記してください。 • 生後4ヵ月以下の検体は、交差性の影響を避けるため前処理（抽出操作）が必要です。本項目にてご依頼ください。 • 生後5ヵ月以上の検体は前処理（抽出操作）が必要ありませんので、「OG98 6：17α-ヒドロキシprogステロン（生後5ヵ月以上）」にてご依頼ください。 • 本項目の参考基準値は、日本人健康児0~17歳より算出しております。 	<ul style="list-style-type: none"> • ご依頼の際には必ず年齢（0歳児は月齢）を明記してください。 • 生後5ヵ月以上の検体は前処理（抽出操作）が必要ありませんので、本項目にてご依頼ください。 • 生後4ヵ月以下の検体は、交差性の影響を避けるため前処理（抽出操作）が必要です。本項目の参考基準値は、日本人健康児0~17歳より算出しております。

*1 検査実施料に関わる留意事項

17 α -ヒドロキシprogステロン（17 α -OHP）は、先天性副腎皮質過形成症の診断又は治療効果判定のために行った場合に算定する。

●参考文献

柳瀬 里美, 他：医学と薬学 78 (4) : 461~466, 2021. (検査方法参考文献)

田苗 綾子, 他：ホルモンと臨床 28 (7) : 749~756, 1980. (臨床的意義参考文献)